

会議の実施日時	令和3年3月11日 15:30~17:10 令和2年度 第2回
報告事項	<p>ア 令和元年度 病床機能報告の状況(確定値)について</p> <p>イ 医療機器の共同利用計画の報告について</p> <p>ウ 公立・公的医療機関の具体的対応方針の再検証について</p>
	<p>○ 事務局から、資料1~資料3により、報告事項ア~ウについて説明した。</p> <p>資料2により庄原市立西城市民病院のマンモグラフィ装置更新に係る共同利用計画が確認された。</p> <p>○ 鳴戸会長から、資料3による公立・公的医療機関の具体的対応方針の再検証について、第1回地域医療構想調整会議(令和2年10月29日)以降の庄原赤十字病院の状況について発言を求められ、中島委員(庄原赤十字病院長)が次のとおり報告した。</p> <p>■ 前回の地域医療構想調整会議で、当院の病床の300床を32床削減して268床で運用することについて合意を得たので、令和2年度内の病床削減や補助金の申請手続きを進めようとしていたが、今現在、コロナ関係で病棟フロアすべてを感染症病床にしなければならず、これで病床削減すると病棟の運用が難しくなるとの声が現場からあがった。院内協議の結果、現状のコロナ患者の状況では、今年度中の病床削減は難しいとの判断に至り、年度内の病床削減を見送ることとした。将来へ向けての病床削減方針そのものは変わっていないので、コロナの感染状況を見ながら、来年度でのダウンサイジングを検討していきたい。準備はすべてできている。</p> <p>《質疑・意見等》</p> <p>■ 令和2年度に病床削減策への国の予算がついており、広島県へも予算配分が行われた。この補助金は、医療介護総合基金の方に引き継いでやっていくとのことなので、次年度も補助金が交付されることになるであろう。</p> <p>今回のコロナで病床をどう維持していくかは、非常に大きな問題、これを機会にどれぐらいの病床を各圏域で確保しておく必要があるか、これからの地域医療構想調整会議地域医療構想調整会議で話し合いをしていくことになるであろう。国、県においてもどういう体制がいいのか話し合いがあると考えている。</p> <p>(中西委員)</p> <p>○ 庄原赤十字病院の令和2年度での病床削減方針の撤回、次年度での病床削減方針については、特に異議なく了承された。</p>

※ 出席者委員の分かるものを添付してください。

※ 報告書は複数枚になっても構いませんが、各協議内容について項目の整理をお願いします。

※ 参考となる資料があれば、併せて提出してください。